

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	小牧市		代表者名	山下史守朗	
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	市長公室行政改革課	連絡先電話番号	0568-76-1113
担当者役職	専門員	担当者氏名	吉田健太郎	連絡先E-mail	
住所	485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	地域デジタル化推進事業		
概要	①市内高校生を対象にしたデジタル勉強会の実施 ②「地域DXの新たな担い手育成」を目指し、市内の高校生が講師役を担うデジタル相談会の実施				
支援を求める分野	デジタルデバイド対策				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月20日	講演(実地)	14時00分	17時00分	
				活動時間(分)	180
2-2.	会場名	愛知県立小牧高等学校		最寄駅	小牧駅
派遣場所	所在地	小牧市小牧1丁目321番地		最寄駅からの交通手段	巡回バス

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"><li>小牧高等学校で初めて開催する「デジタル勉強会・説明会」について、小牧高校の生徒に向けて、授業で使用する資料案などを作成いただき、わかりやすく具体的に説明いただいた。グループワークにおいても、グループで活発な意見が出るよう適切にファシリテートいただいた。</li><li>今後実施する「デジタル相談会」に向け、実効性のある説明会となるよう、参加する高校生を対象に模擬相談会を開催するなど企画、調整いただいた。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	引き続きよろしくお願い致します。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	52人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4	0	2	46

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>地域DXの新たな担い手育成の視点から、高校生にもデジタルデバイドが社会課題となっている背景や、デジタルデバイド解消に向け、スマホ教室など様々な施策が実施されていることを学ぶ必要がある。</li><li>デジタル相談会に向け、相談会の流れと注意事項、頻出相談内容の紹介、模擬相談会を実施するなど事前準備を行う必要がある。</li></ul>
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	デジタル勉強会・説明会の講義を通して、高校生にもデジタルデバイドが社会課題となっていることを知り、自分たちが持っている知識でも、デジタルデバイド解消のために貢献できることがあるということを理解してもらう。その他、社会課題に対する興味・関心の向上や、実際に高齢者がどんなことで困っているのかを理解する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校1年生を対象(1クラス:40名)にデジタル勉強会を開催し、デジタルデハイドが生じている背景、デジタルデハイド解消に向けた取組み(小牧市及び浦田研究室での事例紹介)を学ぶ講義や、高齢者がスマートフォンでどんなことができるかと便利かを考えるグループワーク(6グループ)を行った。</li> <li>・デジタル相談会で講師を務める高校生(6名)を対象に、デジタルデハイドに関する講義の他、デジタル相談会に向け模擬相談会を行った。</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル勉強での講義を通して、高校生にも社会全体のDXが急速に進み、デジタル化の必要性がより一層増す中、その歪としてデジタルデハイド(情報格差)が生じていることを理解いただけた。</li> <li>・グループワークで高齢者がスマートフォンでどんなことができるかと便利か(生活の質が向上するか)考え、発表・提案することで、自分たちが持っている知識でも課題解決に貢献できることに気付くことができた。</li> <li>・説明会では、模擬デジタル相談会を開催し、高齢者が実際にどんなことで困っているか(デジタル相談会で多かった質問事項)学ぶことができ、来月のデジタル相談会の準備を行うことができた。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	成果物ではありませんが、開催したデジタル勉強会・説明会の実施概要を添付します。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
	デジタル相談会の開催に向け、相談者と担当講師の割振りを行い、小牧高校側へ共有する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタルデハイド解消するため、市内の高校生を巻き込み、新たな地域DXの担い手を育成し、スマホ教室等において講師や受講者のサポートを行う。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

掲載許可

掲載可

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



